Vol. 31
SPECIAL STEEL
March/2007

S.Steel すてぃ～る

目　次

特集　平成19年「賀詞交換会」

- 平成19年「賀詞交換会」開催 …… 1
- 支部賀詞交換会 …… 6
- 突然おじゃま　永澤成悦　大同マテックス（株）富士支店支店長 …… 8
- 私の愉しみ　三上忠明　ノボル鋼鉄（株）専務取締役 …… 9
- 委員会報告 …… 10
- 事務局だより・編集後記 …… 裏表紙

社団法人全日本特殊鋼流通協会

〒103-0025　東京都中央区日本橋茅場町3丁目2番10号（鉄鋼会館）
TEL.03-3669-2633・2777　FAX.03-3669-0395
ホームページ　http://www.zentokkyo.or.jp
E-mail　zentoku3@ba2.so-net.ne.jp

（社）全日本特殊鋼流通協会
平成19年『賀詞交換会』開催

好業績の今だからこそ、安定した市場の共有を

社団法人全日本特殊鋼流通協会は、1月29日（月）18:00より東京・市ヶ谷のグランドヒル市ヶ谷「瑠璃の間」において、約480名の参加を得て平成19年の賀詞交換会を開催しました。

三上会長は「特殊鋼流通の売上は地域や業態、鋼種などで多少の温度差はあるものの、各企業とも採算性ではおおむね良好な結果を出している。いくつかある先行きの不安材料に対しては、製販一体となった安定した市場の共有を目指したい」とあいさつしました。また、特殊鋼販売技士など全特協が取り組む人材育成事業では、例年500名台の参加者が昨年は倍増の1000人を超えたことを報告。景況の好転からくる会員各社の人材育成への意欲の表れが見て取れました。

引き続き、ご来賓を代表して経済産業省製造産業局鉄鋼課長・安藤久佳様よりご祝辞を頂戴し、社団法人特殊鋼倶楽部会長の小澤正俊様のご発声で乾杯。終始和やかなムードでの歓談の場は、新しい年の門出にふさわしく今年一年の抱負を語り合う参加者の談笑の輪がそこかしこで見受けられました。

中締めは竹内誠二東京支部長の「10年、いやそれ以上経っても『入っててよかった』と思われる、より充実した協会活動を」との決意も新たなあいさつとともに散会。新年に相ふさわしい活気に満ちた賀詞交換会となりました。

全特協会長　年頭のあいさつ

（社）全日本特殊鋼流通協会　会長　三上聰彦

優れた「ものづくり」に不可欠な特殊鋼に誇りを持ち、製販一体となり安定した市場の共有を

皆様新年明けましておめでとうございます。

会員、賛助会員の皆様、またご来賓として公務大変お忙しい中経済産業省鉄鋼課長安藤様はじめ鉄鋼課の皆様、そして（社）特殊鋼倶楽部会長小澤様はじめ業界団体の皆様や報道関係の皆様と、多数の方々のご臨席を賜り大変賑やかに平成19年賀詞交換会をここに開催することができ有難く、厚く御礼申し上げます。

景気拡大期間はいざなぎ景気を上回るという明るい雰囲気の中、新年を迎えました。昨年は特殊鋼業界も自動車、造船、建設機械、工作機械等旺盛な需要増により、特殊鋼熱間圧延鋼材生産高は暦年で2100万トンに迫る勢いで、5年連続の生産記録を更新中であります。

特殊鋼メーカー各社は高操業により、上期では予想以上の好業績を上げられました。流通におきましてはニッケル価格の高騰による一部鋼種の大幅な値上げに戸惑いながらも、ユーザー様へご理解をいただくため奔走いたしました。

昨年末、経営環境に関するアンケート調査を実施し現在取りまとめ中であります。売上につきましては地域、規模、取り扱い鋼種等により多少の温度差が生じておりますが、採算面は概ね堅調に推移しております。

本年は原料価格の先高感、一部分野においての調整局面による減速等、不安要素も認められます。巡航速度に移行する過程での我慢の期間と受け止め、製販一体となって需要に見合った生産、需要に合わせた在庫で安定した市場を共有するということが肝要かと存じます。

製造業の回復と共に「ものづくり」が注目を集め、産業を支える中小企業の底力が見直されて参りました。優秀な「ものづくり」に必要不可欠のものが高品質の素材であります。我々が扱っております特殊鋼もその一翼を担っているという誇りを持とうではありませんか。

当協会は昨年12月2日、法人化10年を迎えました。皆様からの暖かいご支援を頂き6月6日に記念事業を無事催行することができました。10月には記念誌として「写真で見る全特協10年」を発刊し、配布させていただきました。

また、協会の大きな事業である特殊鋼販売技士、特殊鋼販売加工技士はこれまで年間550名前後の受講者でございましたが、本年度は1000名を超える受講者となりました。協会事業として会員の皆様に貢献させていただいております。

現在前中期計画を総括し、来年度からの第3次中期計画を策定中であります。財務基盤、事業内容の充実を図り魅力ある全特協づくりを目指して参ります。

会員各社の益々のご繁栄とご臨席の皆様のご健勝、ご多幸をお祈りいたしまして、あいさつとさせていただきます。

（社）全日本特殊鋼流通協会　賀詞交換会

平成19年1月29日（金）　グランドヒル市ヶ谷

ご来賓祝辞

経済産業省製造産業局 鉄鋼課長 安藤久佳 様

再投資可能な収益構造を確保し、業界のさらなる活性化を目指してほしい

皆様、新年明けましておめでとうございます。

ただいま、三上会長より特殊鋼業界の現状と今後につきまして、力強いお言葉をいただき大いなる期待が持てる一年になるものと実感しております。

私ども鉄鋼課でも、この1～3月期の生産計画を修正させていただきましだが、特殊鋼は引き続き絶好調という状況で、平成18年度は生産2100万トンを超えて5年連続過去最高記録を更新中です。

先ほども、全特協・運営委員会の皆様から地方の状況や鋼種ごとの状況などをお伺させていただきました。さまざまな面で懸念材料はあるようですが、全体としては非常に好調であるという印象を受けております。

もっとも、今年はいろいろな面で不透明感のある一年ではないかと思っております。ご存じのように中国という要因が少なからず影響を与えてくるでしょうし、皆様方のお客様である製造業も外需に対する依存度が非常に高いわけです。当面は、皆様方の製品供給が取り急ぎの課題となるでしょうが、いろいろな不安定な要因を抱えているのも日本経済の宿命であると思っております。

そうした中で、全特協さんは立派な活動を続けていらっしゃることに敬意を表させていただきます。是非、「地に足の着いた」、製品の「安全・安心・信頼」を担保される諸活動について、もう一段、二段と、さらに高く飛躍される一年となっていただけることをお祈りする次第です。

そして、メーカーおよび流通の皆様方合わせて、しっかりと収益を上げていただきたいと思います。しっかり儲けていただきたいということです。その上で、将来の日本の競争力のために、再投資、再活性化していただきたいと改めてお願い申しあげる次第です。

世界に冠たる自動車メーカーも、皆様方のご活動があってのことでございます。先ほど三上会長が「誇りを持って」とおっしゃられましたが、そのとおりでございます。原料面を始めとして難しい状況がございますが、ぜひしっかり収益を確保していただいて、将来の基盤として再投資が可能になるような活動を続けていただくようお願い申しあげます。

乾杯あいさつ

(社)特殊鋼倶楽部　会長　小澤正俊 様

品質は最高のセールスマン

皆様、新年明けましておめでとうございます。

先ほどの安藤課長のお言葉にもありましたが、今年は収支改善への取り組みが急務になっていると思います。ここ数年の、業界の好業績を受けて、われわれを取り巻く環境は大きく変化してきているといえます。そうした変化と環境の推移を皆様方も見落とさぬよう、われわれも常にアンテナを張り巡らしてやっていきたいと思っているところです。

流通の皆様は、ユーザーと直にアンテナのつながりがございますから、特段に、このあたりの先読みを是非お願いしたい次第です。そして、製造と流通がこうした情報を共有し、共に連携しながらさらなる活力ある業界の発展に力を尽くしていこうではありませんか。

中国など諸外国の動向をはじめ不透明な要素も多いと予想される一年ですが、日本の特殊鋼は非常に品質の素晴らしい、世界に冠たる機能材料です。私は、常々「品質は最高のセールスマンである。ひとつのすぐれた製品は百人分のセールスマンの仕事をこなす」と思っております。こうした栄えある業界に自信と誇りを持ち、由来激変の年といわれる亥年を乗り切っていこうではありませんか。

それでは、全特協の皆様の今年一年のご多幸とご健勝を祈念いたしまして乾杯したいと思います。皆様、ご唱和をお願いいたします。乾杯!

中締めあいさつ

（社）全日本特殊鋼流通協会　東京支部長　竹内誠二

「入っててよかった全特協」と思われる活動の充実を

本日は、全特協の賀詞交換会に全国各地から多数のご参加をいただきまして、誠にありがとうございます。

昨年、全特協の法人化10周年がありまして、その10年間の足跡を記した記念誌を時々読み返させてもらうのですが、思い出こもごも振り返りまして、つくづく「入っててよかった全特協」との感慨を持たせていただく次第です。

今後さらに10年間、いやまたそれ以上の期間において「入っててよかった」と会員の皆様が思っていただけるよう、協会の事業、活動、企画をより充実させていきたいと思いますので、会員・賛助会員各位の皆様のご支援とご協力を切にお願い申しあげる次第です。

景気の方も、おおかたの予測ではまあよろしい見込みでございます。それぞれの企業様でも業績向上を期待、祈念したいと思います。

それでは、全日本特殊鋼流通協会と本日お集まりの皆様の会社のご繁栄、そして本日ご参集いただきました方々の今年一年のご活躍を祈念いたしまして、元気よく三本で締めたいと思います。

各支部でも賀詞交換会

東京支部

開催日時：平成19年1月29日(月)18：00～20：00
開催場所：グランドヒル市ヶ谷
出席者：480名
内容：協会との合同開催

大阪支部

開催日時：平成19年1月5日(金)
開催場所：リーガロイヤルホテル
出席者：794名
内容：例年通り大阪特殊鋼三団体合同での「新年賀詞交換会」が盛大に行なわれました。司会を佐々木副支部長がつとめ、樋口支部長が三団体を代表してあいさつに立ちました。
来賓を代表して、近畿経済産業局産業局長 久貝卓様(産業部長上村良次様代読)、大阪府知事 太田房江様(商工労働部商工振興室長山口春夫様代読)にごあいさついただき、続いて大阪ステンレス流通協会 森清市理事長が乾杯の音頭で乾杯をし、新年賀詞交換パーティーに移りました。会は滞りなく進行し、盛会裏に散会しました。

▲樋口支部長あいさつ

▲司会の佐々木副支部長

▲上村良次様あいさつ代読

▲山口春夫様あいさつ代読

名古屋支部

開催日時：平成19年1月10日(水)
開催場所：名古屋観光ホテル
出席者：410名
内容：三団体共催賀詞交換会
主催者を代表して特殊鋼倶楽部名古屋支部の久保支部長があいさつ。中部経済産業局製造産業課課長補佐の佐藤憲司様が来賓を代表して祝辞を述べられたあと、賀詞交換会が始まりました。
中部地区の好況を反映してか参加者は410名と例年に比べ多く、最後は全特協の田島支部長の中締めで盛会のうちに終了しました。

▲(社)特殊鋼倶楽部
久保支部長あいさつ

▲田島支部長あいさつ

東北支部

開催日時：平成19年1月18日(木)16：00～18：00
開催場所：仙台国際ホテル
出席者：57名
内容：吉成支部長、三上会長に続き、来賓の大同特殊鋼(株)工具鋼営業部企画室長 佐野弘幸様にごあいさついただきました。
乾杯の音頭は小林春信顧問が行い、中締めを(株)アマダカッティング 渡辺康雄ゼネラルマネージャーにお願いしました。
昨年に続き、参加者が多いにぎやかな賀詞交換会となりました。

▲吉成支部長あいさつ

▲三上会長あいさつ

▲佐野弘幸様あいさつ

〔写真提供：(株)特殊鋼産業新聞社〕

北関東支部

開催日時：平成19年2月18日(日)
開催場所：伊香保温泉・ひびき野
出席者：25名
内容：賀詞交換会に先立ち、「業界あれこれ」を演題に、群馬県金型工業会 津久井義孝会長((株)宮津製作所取締役／相談役)に講演いただきました。金型の産地である群馬県における、金型工業会の立ち上げから現状まで、また、金型企業として、存続してゆく難しさ等実例を踏まえてわかりやすくお話しをしていただけました。
特に最先端の技術の導入と高度な技術職人を融合させなければならない難しさ、また非常に多くの設備投資を行い続けなければならない難しさ等お伺いできました。
立ち上げ当初33社であった工業会も現在100社を超え、群馬大学工学部にシステム工学科として金型を専攻する科の設立が決まるなど、来年40周年を迎える工業会の実績も知ることができました。

▲津久井金型工業会会長による講演

▲鈴木支部長あいさつ

▲三上会長あいさつ

▲あいさつをする大同特殊鋼(株)佐々木主任様と日本高周波鋼業(株)小金沢所長様

〔写真提供：(株)特殊鋼産業新聞社〕

静岡支部

開催日時：平成19年2月14日(水)
開催場所：静岡グランドホテル中島屋
出席者：22名
内容：名古屋から全特協 熊谷副会長も出席されました。来賓を代表して大同特殊鋼(株)工具鋼営業部室長佐野弘幸様より「メーカーは常に世界に冠たる良い製品を提供していく努力を続ける」と心強いあいさつをいただきました。

▲原支部長あいさつ

▲名古屋から熊谷副会長出席
〔写真提供：(株)特殊鋼産業新聞社〕

九州支部

開催日時：平成19年1月9日(火)
開催場所：博多全日空ホテル
出席者：211名
内容：九州ステンレス流通協会と共催。全特協の色川新九州支部長より、九州地区での特殊鋼流通の歴史、今後の見通し等のあいさつがありました。懇親会は、大同特殊鋼(株)福岡営業所長 藤森様の乾杯で始まり、会の終わりは抽選福引会で多いに盛り上がりました。

▲色川新支部長あいさつ

▲右から色川支部長・岡田・吉永・青柳各副支部長

突然おじゃま

大同マテックス(株)富士支店 支店長／永澤成悦

富士山の雄姿を間近に見ることのできる富士市。その裾野が切れる駿河灘近くに位置する大同マテックス(株)富士支店は、大井川以東の静岡県内でプレート･金型など冷間主体の商材を取り扱う。永澤支店長の下をおじゃまし、昨今の商況などを伺ってみた。

大同マテックス(株)富士支店

支部の活性化を目指し、会員の意見集約を図る

■地域に根ざした営業開拓を促進

新生富士支店は、平成16年8月に大同マテックス(株)と大同テクニックス(株)との合併で現在の組織形態に衣替えし、9月に現所在地に移転した。プレート･金型を中心とした加工品を取り扱っているが、冷間主体の品目が大勢を占めるのが特徴だ。大同マテックス自体は熱間の問屋であるが、そこは、富士支店の顧客の特性を含めてテクニックス時代からの独自性だという。

掛川市にも支店があるため、富士支店の営業エリアは大井川以東を基本とする。中小および中堅どころの顧客が大部分を占めるため、取り扱う品目は必然的に多品種少ロットになる。「こまごまとしたお客さんの要望にきめ細かく応えるのが、わたしたち地方支店の営業姿勢。テクニックス時代から引き続き、ベテランスタッフが揃っているから心強い」と永澤支店長は確固たる自信を持っているようである。「地域特性上、パイは限られているが、新規ユーザー獲得も念頭においていく。まずは、小さな仕事からでもこつこつと」という永澤支店長、「組織変更と社屋の移転とあったので、駅前のタクシーに『大同マテックスまで』と声をかけたらスッと案内してもらえるよう地域に根ざしていきたい」とのことである。

■副支部長として会員を取りまとめ

永澤支店長は、昨年6月より静岡支部の副支部長を努めておられる。県内とはいえ、地域特性やそこからくる商習慣も微妙に違う静岡支部は、会員企業がエリア内に散在していることもあり、まとまった活動が行いにくいことが長年の悩みである。

そこで現静岡支部では、まずは役員会で今後の取り組みを具体化して、この2月中に会員企業向けのアンケートを実施。各会員の意向や希望も踏まえて支部活動とその事業を活性化していく方向であるという。「小さな支部でできることは限られてくるかも知れないが、例えば、全特協加入以前ならメーカー系列を超えて話し合うということは皆無に近かった。そうした機会を設けられるようになったことでも、この会の意義は大きいと思う」と永澤支店長は全特協の存在を評価する。

■歴史小説から幅広い考え方を学ぶ

永澤支店長は岩手県一関市出身。住宅メーカー等を経て、昭和60年に竹内ハガネ商行に入社したのが特殊鋼業界への関わりはじめである。「当時、相模営業所静岡出張所というのがあり、そこがこの業界のスタート」(永澤支店長)。その後、竹内ハガネ商行・ノボル鋼鉄・大同マテックス3社の相模地区統合となる大同テクニックスの設立から、今回の合併を経て現在に至り、支店長職は平成17年2月より務められている。

そんな永沢支店長の趣味は、1カ月で5～6冊は読破するという歴史小説。「さまざまな時代と環境のなか多くの登場人物の行動から学べることはもちろん、作家・作品ごとに時代や人物の描写・評価が異なることも読み比べのおもしろさ。広い視野を持つことの大切さを学ばされる」とのことである。その広い視野が、今後の富士支店の発展へとつながっていくに違いない。

新富士駅を降りれば勇壮な富士山が

現場にはこまめに足を運ぶ。整理整頓、安全へのチェックを欠かさないためだという

私の愉しみ

ノボル鋼鉄(株)専務取締役／三上忠明

旅と人、すべての出会いで ゴルフはより楽しいものに

■競技ゴルフに打ち込んだ青年期

「学生時代から壮年期までは競技としての緊迫感を楽しんでいたが、ここ10年くらいは肩の力を抜いて楽しめるレジャーになってきたという感じ」と三上さんが振り返られるのが40年余りにおよぶご自身のゴルフ歴。「父親の影響でゴルフを始めたのが高校生の頃。16歳の時の全日本ジュニア5位のほか、大学時代の関東中日杯3位など、体育会系のゴルフ部に所属して、それなりの成績を納めていた」と、その戦歴は輝かしい。

「日刊スポーツの全日本社会人オープンで2位になった35歳頃がゴルフの腕としてはピークだったかな」と振り返られる三上さん。「それ以降、40歳代は仕事や家庭のことで多忙になったりで、ちょっとゴルフ熱も冷めてきた頃だったんだね。スイング、パター含めて、みるみる腕が落ちてきた」という。そのため、少々ゴルフから遠ざかった時期があったというが、近年になってまた違う形でのゴルフへのアプローチがあり、今までにないゴルフとの関わり合いのなかで、よりゴルフを楽しく身近に感じられるようになってきたそうである。

■より上質でハイクリティなゴルファーに

50歳を過ぎた頃から毎年必ず出かけているのが、アメリカ西海岸への「ゴルフひとり旅」。時期は毎年5月のGW前後に1週間ほど。現地でレンタカーを手配して、ひとりで気ままにいくつかのコースを回るとのこと。「大学卒業後、一年ほど西海岸に“遊学”していたことがあったので、土地勘と多少の英会話はOK。雄大な大自然を感じられるアメリカのゴルフ場でのプレーはとにかく最高」なのだという。

思わぬ人との出会いも楽しみのひとつだ。「ひとりでプレイするときもあるが、現地のグループとラウンドすることもある。期間中に別のコースで思わぬ再会を果たしたり、翌年にまたばったり、なんてこともあって、旅先での人とのふれ合いもおおいな楽しみのひとつ」だという。

「競技ゴルフは緊張感とかスコアを意識しながら切磋琢磨し合うという。もちろんそれはそれで充実した時期だったが、近年になって、プレー中に景色を楽しむ余裕が出てきてから、私のゴルフ感はより一層充実してきたように思う」と三上さん。旅の途上で人との出会いを楽しみながらゴルフをすることで、次への目標も定まってきたという。「あと数年で私も還暦。よりハイクオリティなゴルフプレーヤーへと成長できればいいと思う。スコアではなくラウンドをともにする人たちへの“気配り”とか“上質なゴルフ時間の演出”とかね。そういう歳とったなりのマナーなどを身につけて、若い人たちのお手本になりたいと思うんだ」。

■息子とサシでふたり旅の効果とは

三上さんの旅については、子育てにもひと役買っていた時期があるようだ。2人の男の子がいる三上さんだが、それぞれが中学生の頃にはたびたび父と子で旅行に出かけていたという。「韓国やアメリカなどの海外へ、その都度どちらかの子供を連れて男同士2人で出かけたもんです」。

ポイントは、兄弟2人を連れて行くのではなくどちらかひとりというところだ。「2人だと兄弟喧嘩はするし、一種の家族旅行になっちゃうし」と笑う三上さん。「それぞれどちらかとじっくり向き合うことって、意識して作らないとなかなかできないから。特に父親の場合はね」という思いもあっての旅行であったようだ。「息子たちにとっては多感で微妙な年頃。当時、オヤジとふたり旅を通してどんな効果があったかはよくは分らないけど、一緒に過ごしてみて、ふたりで話してみて、なにか思い出に残っていることがあればうれしいよね」。

父と子の関わり合いに、子育て論に、とても参考になる試お話しになのではないだろうか。

雄大な環境でのプレーは海外ならでは
（06年5月西海岸にて）

熱処理センターとしての位置づけの静岡支店

兄・聡彦社長（全特協会長）ともよくプレーする
（06年2月ハワイにて）

委員会報告

第42回運営委員会

日　時：平成19年1/29　13:00～15:30
　　於：グランドヒル市ヶ谷「真珠の間」
内　容：(1) 審議事項
　　1. 平成19年度事業計画と予算について
　　2. 第3次中期計画・第2回検討会について

第25回内外交流委員会

日　時：平成18年12/13　12:00～14:00
　　於：大阪・鉄鋼会館
内　容：1. 第3次中期計画について
　　2. インドネシア特殊鋼関連産業視察研修報告

人材育成委員会
特殊鋼販売技士検定試験委員会

日　時：平成18年11/16　12:00～14:00　於：鉄鋼会館
内　容：1. 特殊鋼販売技士2級合否判定について
　　東京・大阪・名古屋・北関東の各支部で実施し、218名が受験、191名が合格した。

人材育成委員会
特殊鋼販売技士検定試験委員会

日　時：平成19年2/14　15 :00～17:00　於：鉄鋼会館
内　容：1. 特殊鋼販売技士1級試験問題選定について
　　東京・大阪・名古屋・東北・北関東・九州の6支部で実施、340名が受験予定。試験日は3月26日(月)。

第9回経営効率化委員会

日　時：平成18年12/8　12:00～14:00　於：鉄鋼会館
内　容：1. 第3次中期計画について
　　2. 全特協ISO塾9000集合研修の実施について
「全特協ISO塾9000」集合研修の結果（その2）
平成17年7月から平成18年4月まで10回の集合研修にご参加いただいた5社の内、平成19年2月1日に大阪支部会員の伊勢鋼材(株)がISO9000の資格認定証を取得されました。

第11回広報委員会

日　時：平成18年9/4　15:00～18:00　於：鉄鋼会館
内　容：1. 設立10周年記念誌（写真集）の発行について

第16回青年部会正副部会長会議

日　時：平成18年9/26　15:00～17:00　於：鉄鋼会館
内　容：1. 第3次中期計画について
　　2. 青年部会の今後の事業について

第17回青年部会正副部会長会議

日　時：平成19年2/16　15:00～17:00　於：鉄鋼会館
内　容：1. 平成19年度事業計画(案)・収支予算(案)について
　　2. 平成19年度青年部会定時総会の開催について

事務局だより

1 JISハンドブック及び定期刊行物購入斡旋のお知らせ

日本規格協会発行の「JISハンドブック」及び定期刊行物の購入斡旋をひきつづき20%引きで実施中です。是非ご利用下さい。
お問合せは、事務局までお電話下さい。(**Tel:03－3669－5803**)

2 鉄網製共通通い箱「おかよちゃん」について(経営効率化委員会)

市場より安くご提供できますので、是非、ご利用下さい。
鉄網製(大)@9,000円(内寸 960x760x350)
鉄網製(中)@7,100円(内寸 760x465x400)
鉄網製(小)@4,200円(内寸 770x460x250)
(ご指定倉庫車上渡し、納期10日間)
注文用紙は事務局にございますのでご一報ください。(**Tel:03－3669－2777**)

3 「法律無料相談窓口」をご利用下さい。(経営効率化委員会)

飯田法律事務所と法律顧問契約を結び、会員の皆様を対象に「法律無料相談窓口」を開設しております。「**何でも相談室**」として会員企業の一般社員の皆様のプライベートな法律相談や助言を無料で対応させていただきます。

・ご相談先:飯田法律事務所　Tel:03－3666－3838(窓口:高橋氏)

・ご相談の流れ: ①全特協「法律無料相談窓口」を希望とお伝え下さい。
②所属支部と会社名をお伝え下さい。
③相談内容を簡単にお伝え下さい。
④その後、弁護士の先生と直接具体的な相談をして下さい。
⑤必要なら、地方在住の弁護士さんを紹介してもらえます。

ご相談内容は守秘義務があり協会には一切報告されません。

■ 編集後記 ■

地球温暖化現象で世界的な異常気象が続いています。春の訪れも、花の便りも急ぎ足でやってくるような気がします。今年の賀詞交換会は各支部共に盛会で溢れんばかりの活気だったようです。東京グランドヒル市ヶ谷でも500名に近い数で、嬉しい反面、会場が手狭に感じられ、皆様にご迷惑をお掛けしたのではないかと、主催者としてハラハラいたしておりました。

すてぃーる31号をお届けします。賀詞交換会特集号ですが、静岡支部の活性化に取り組んでおられる大同マテックス永澤支店長の力強い声と、学生時代に、培われたゴルフ道の神髄に触れられたノボル鋼鉄三上専務の興味ある記事も併せて掲載させていただきました。

広報委員会委員長・広報誌発行責任者／竹内誠二

すてぃ～るVOL.31　平成19年3月5日発行　・発行者：専務理事　仕幸英夫　・発行責任者：広報委員会委員長　竹内誠二　・制作協力　株式会社トライ